

地域食ブランド牽引人材育成事業『道産食品「輸出塾」』委託業務に係る
総合評価一般競争入札における落札者決定基準

令和8年（2026年）3月12日
北海道経済部食関連産業局食産業振興課

1 落札者決定基準の位置付け

この落札者決定基準は、地域食ブランド牽引人材育成事業『道産食品「輸出塾」』委託業務（以下、「業務」という）の総合評価一般競争入札に係る申込みをした者のうち、価格その他の条件が最も有利なものを決定するための基準を示すものである。

2 総合評価による落札者の決定方法

入札書に記載された業務の入札価格が予定価格の制限の範囲内にある者のうち、入札価格に係る評価点（以下「価格評価点」という。）と入札価格以外の要素に係る評価点（以下「技術評価点」という。）を合計して得た数値が最も高い入札者（以下「最も有利な入札者」という。）を落札者とする。

この場合において、最も有利な入札者が2人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて落札者を決定する。なお、当該入札者のうち出席しない者又はくじを引かない者があるときは、入札執行事務に関係のない職員に、これに代わってくじを引かせ落札者を決定する。

3 価格評価点

価格評価点は、入札価格を予定価格で除して得た値を1から減じた値に、価格評価点の得点配分を乗じて得た数値を（小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位止めとする。）とする。

$$\begin{aligned} \text{価格評価点} &= (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格}) \times \text{価格評価点の得点配分} \\ \text{＜例＞ 予定価格が 550,000 円で入札価格が 500,000 円の場合} \\ &\quad (1 - 500,000 \text{ 円} / 550,000 \text{ 円}) \times 50 \text{ 点} = 4.545\cdots \quad \neq \underline{4.55} \end{aligned}$$

4 技術評価点

技術評価点は、別紙「道産食品輸出企業海外進出促進事業委託業務 技術評価点 評価項目、評価基準及び配点」（以下「評価基準」という。）に基づき、本基準の第5項に定めるところにより評価基準に記載する評価項目毎に評価を行い、各評価項目の得点を合計して得た数値とする。

5 技術評価点の評価方法

(1) 技術評価点の評価は、道が設置した地域食ブランド牽引人材育成事業『道産食品「輸出塾」』の契約における総合評価審査会（以下、「審査会」という）において審査する。

(2) 1次評価（書面審査）において、評価基準による必須項目が具備されて

いるか否かを事務局が判定し、これを満たしている者には基礎点 10 点を与え、1 項目でも満たしていない場合、その時点で失格とする。

なお、判定結果については 2 次評価（プレゼンテーション）前に委員に報告する。

(3) 2 次評価（プレゼンテーション）においては、加点項目について、提案内容に応じ審査を行い、その提案内容に応じて評価基準に示す配点に基づき加点する。

(4) 技術評価点は、審査会の各構成員の採点の平均点をもってその得点とする。（小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位止めとする。）

6 価格評価点と技術評価点の得点配分

価格評価点と技術評価点の得点配分は次のとおりとする。

なお、価格評価点と技術評価点の得点の配分については、要求する技術等の要素により当該業務の成果が大きく影響されることから、技術評価点に重点を置いた総合評価を行うこととし、その配分割合は、価格評価点：技術評価点＝1：3 とする。

区分	価格評価点の得点配分	技術評価点の得点配分	合計
配分	50 点	150 点 うち基礎点 20 点 うち加点 130 点	200 点

**地域食ブランド牽引人材育成事業『道産食品「輸出塾」』委託業務
技術評価点評価項目、評価基準及び配点**

評価項目	評価細目	評価基準	評価区分	配点		
				基礎点	加点	合計
実施体制	実施体制・業務遂行能力	提案者の組織体制が業務実施に必要なかつ十分なものとなっているか	必須項目	10	－	20
		業務実施に関する十分な知見、海外ネットワークを有し、事業者の課題の内容を的確に理解し、適切な対応ができる体制となっているか	加点項目	－	10	
実施手法	業務遂行方法の妥当性	業務を効率的かつ効果的に実施できる全体スケジュールになっているか	必須項目	10	－	10
実施方策	企画提案の目的適合性	道産食品「輸出塾」をより実効性の高い事業として実施するにあたり、研修体制及びプログラムの構築は指示書の趣旨に基づく確かなものであるか	加点項目	－	10	90
		塾生の選定にあたり、事業の目的に沿った選定方法となっているか	加点項目	－	10	
		セミナーの開催にあたり、指示書に基づいた実施方法となっているか	加点項目	－	10	
		アドバイザーの設置にあたり、支援に必要な知見を要する人選となっているか。また、塾生を含めた道内事業者への具体的な支援にあたって効果的な進め方が実行できるか	加点項目	－	10	
		商談会等の実施にあたり、企画・調整、開催準備、商談会の実施内容等について、ビジネスマッチングに向けた効果的な手法がとられているか	加点項目	－	10	
		バイヤーの招へいにあたり、企画・調整、マッチング先選定、効率的な行程および全体の実施内容等について、成約に向けた効果的な手法がとられているか	加点項目	－	10	
		今年度の塾生同士や、これまでの卒塾生とのネットワークづくりや、連携を促す取組は効果的な手法がとられているか	加点項目	－	10	
		成果報告会・卒塾式について、企画・調整、進行方法など、創意・工夫がなされているか	加点項目	－	10	
		実績報告書はわかりやすくまとめられ、今後に向けた検証や分析などが可能なものとなっているか	加点項目	－	10	
実績	過去の実績	過去に同様の事業を実施したことがあるか	加点項目	－	10	20
		食品関連事業者等との受託（協業）実績のほか、輸出促進に向けた創意・工夫を行ったなどの実績があるか	加点項目	－	10	
道施策との適合性	実施内容	「北海道働き方改革推進企業認定制度」における4つの認定グレード（ゴールド認定、シルバー認定、ブロンズ認定、ホワイト認定）のいずれかに該当しているか（別紙基準表参照）。	加点項目	－	4	10
		「北海道働き方改革推進企業認定制度」における3つの認定グレード（ゴールド認定、シルバー認定、ブロンズ認定）のいずれかに該当し、同制度の評価基準にある「障がい者就労支援企業認定制度」（保健福祉部障がい者保健福祉課実施）の一定以上の認証ポイントを取得しているか（別紙基準表参照）。	加点項目	－	1	
		国が創設した「パートナーシップ構築宣言」を宣言しているか（別紙基準表参照）	加点項目	－	5	
技術点合計				20	130	150

【配点方法】

- ※1 必須項目については、事務局において審査し、審査結果を委員に報告する。
- ※2 10点満点の加点項目については、優れているものは10点、やや優れているものは7点、普通のものは5点、やや劣っているものは3点、劣っているもの又は提案がないものは0点を与える。
- ※3 「道施策との適合性」の項目については、別添「北海道働き方改革推進企業認定制度」及び「障がい者雇用」に関する評価基準をもとに採点する。

「北海道働き方改革推進企業認定制度」、「障がい者雇用」及び「パートナーシップ構築宣言」に関する評価基準

① 北海道働き方改革推進企業認定制度

■加点は、認定グレードに対応した配点とする。

- ・ゴールド認定、シルバー認定：各4点
- ・ブロンズ認定：2点
- ・ホワイト認定：1点

② 障がい者雇用

■北海道働き方改革推進企業認定制度の「ゴールド認定・シルバー認定・ブロンズ認定」で、次の障がい者雇用の評価基準を満たしていれば、さらに加点する。

- 「障がい者就労支援企業認証制度」(保健福祉部障がい者保健福祉課実施)の認証ポイント
 - 【大企業】4ポイント以上：1点
 - 【中小企業】1ポイント以上：1点

③ パートナーシップ構築宣言

■国が創設した「パートナーシップ構築宣言」を宣言していれば、さらに加点する。

- ・宣言している：5点
- ・宣言していない：0点

参加者がコンソーシアムの場合は、以下のとおりとする。

コンソーシアムの構成員のうち、1社でも「北海道働き方改革推進企業認定制度」の認定及び「パートナーシップ構築宣言」の宣言を行っていれば、当該事業者のグレードに応じて、上記に従って加点する。

コンソーシアムのうち、複数の構成員が「北海道働き方改革推進企業認定制度」の認定を受け、かつ異なるグレードである場合は、構成員のうち最上位のグレードの認定を受ける事業者について、上記に従って加点する。